

■テーマ「みつけよう・伝えよう大学図書館の魅力」

■13:15～14:45(90分)／桜美林大学 町田キャンパス 崇貞館 6階会議室H

【講演】

## 大学図書館サバイバルのためのブランディング戦略 ーコンセプトメイクからデザインングへー

仁上幸治（帝京大学准教授）

### 概要

大学図書館では、利用統計上、入館者数、貸出数、レファレンス数、ILL受付数などの数値が減少している点が経営の観点から問題視される。利用者減少という危機的状況に対して、図書館側では様々な工夫努力が重ねられている。しかし、期待したほどに成果が出ていない例も多く、投入された人的・予算的資源に対する効果の面で疑問視される場合もある。

原因として挙げられるのは、潜在利用者層のうち、どうしても来館や利用に結びつかない非利用者（いわゆるハードコア・ノンユーザー）の問題がある。また現利用者層においても、様々な利用促進策が効果的に機能しているとは言えない事例も多い。

この利用度問題は、そもそもなぜ問題なのか、どういう構造の問題なのか？ まずは問題の設定から考え直してみるべきである。図書館員という立場からの問題提起は、図書館員という職種の存続を自己目的化して後付けの理屈をつけているのではないかという、他の大学構成員からの疑念も払拭できない。

こうした厳しい学内経営環境のもとで、現場の図書館員はどのようにして自らの存在理由を訴求することができるのだろうか。その答えを探すひとつの有力な方法がブランディングである。図書館のミッションやポリシー、サービスのコンセプトなどを見直し、それを目に見える形で内外に提示するためのデザインングにつなげていくには、旧来の図書館界の伝統的な思考形態をいちど清算し、企画立案の枠組み自体を再構築する必要がある。

今回の研修では、「大学図書館サバイバルのためのブランディング戦略」と銘打って、図書館ブランディングの基本的な考え方を知り、場としての図書館を総合的に見直し、様々なネックを超えるための具体的・現実的・実行可能なブランディング計画案を作ることに挑戦してみる。

この講演は、現場の図書館員がすぐに開始できるブランディングの取り組みのイメージを持つために、コンセプトメイクからデザインングへという作業プロセスに添って基礎的な用語、概念、手順を整理し、翌日のワークショップへの導入部とすることを目指すものである。

### <目次>

#### 第1部 問題の設定

#### 第2部 図書館員の状況

#### 第3部 企画立案の枠組みの再考

#### 第4部 取り組みの計画づくり

#### 第5部 改革への提案

#### ■0. 付録 事前課題アンケート

#### ■1. 参考文献

#### ■2. 参考サイト

#### ■3. 講師紹介

□■□

## 第1部 問題の設定 \*\*\*\*\*

### 【1】利用者減少の実情

#### 問い直し

- ・利用者減少はなぜいけないのか？
- ・図書館予算の減少はなぜいけないのか？
- ・図書館組織の統廃合はなぜいけないのか？
- ・図書館員の減員・外部委託はなぜいけないのか？
- ・情報サービス職は図書館組織内にはないといけないのか？
- ・図書館員という職種の存続を目的にしてよいか？
- ・あなたは大学内で何をしたいのか、したかったのか？

#### 目標の曖昧さ

利用者数  
利用数  
投資効率

### 【2】立地の問題

#### 不便

- ◎東北学院大学図書館
- ・メインキャンパスから一般道路をはさんで隣に立地。生協ビルから地下道を抜けて入館可能。
- ・1階はカウンターと参考図書。学生の反応「これしか本はないのか～」と帰ってしまう。
- cf.早稲田大学図書館新館(1991)
- ・図書館体操が話題に！(NHK「投稿 Do 画！」取材)

#### 客寄せ

- ◎筑波大学付属図書館
- ・スターバックスコーヒーを誘致
- ・利用者増に結びついたか？

#### 学外コラボによる読書推進

- ◎帝京大学図書館(MELIC)
- ・スターバックスコーヒー誘致挫折
- ・共読ライブラリー(編集工学研究所とコラボ)
- ・大型予算

#### デパートの凋落

立地問題  
新宿学  
繁華街西伸説(プラタモリ)

#### 立地の責任

大学キャンパス整備計画  
動線計画  
コンビニなら撤退

### 【3】対策の枠組み

#### 図書館の学内の位置づけ

「心臓」説より「盲腸」説  
入試広報の写真  
専門職だから外からはブラックボックス  
図書館員にまかせておけばよい  
無関心

#### 限界値を知る

努力と結果は正比例しない  
上限に限界値がある  
無駄な努力はしない  
労力の重点配分は戦略したい  
効果的効率的な取り組み

## 第2部 図書館員の状況 \*\*\*\*\*

### 【1】図書館員の状況

#### 図書館員とは誰か

無関心図書館職員の異動  
学内他部署からの転入  
学内他部署への転出

#### 図書館との関わり

利用者だったのか？  
理解者だったのか？  
支援者・協力者だったのか？

#### とまどい

慣れない業務  
あれこれ忙しい  
長年の伝統と慣例  
職場の保守的な空気

#### 自習状況

『図書館広報実践ハンドブック』(2002)  
『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』(2003)  
『情報の達人』(DVD全3巻33講)(2007)  
『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(2010)

#### 図書館が魅力的でない8つの理由

- 1) オリエンテーションが地味
- 2) 講習会がありきたり
- 3) 広報紙が平凡
- 4) 利用案内が旧態依然
- 5) 新着図書案内が書誌データの羅列
- 6) 図書館員の古いイメージどおり
- 7) 研修を活かせない組織風土
- 8) 研修成果を応用しない姿勢

#### できない理由

能力  
意欲  
本気度  
・身を切る  
・体を張る

### 【2】研修の必要性

#### 図書館員の仕事力

パソコンスキル  
事務処理能力  
企画力

広報力  
政治力

**研修の必要性**

新任者の底上げ  
在任者の知識更新と意識改革  
館員・管理職・館長

**【3】研修の機会**

**私立大学図書館協会**

- ・研修分科会
- ・研究分科会

**研修分科会**

・2009.07.10-私立大学図書館協会東地区部会研究部研修分科会「次世代図書館員のための自己アピール講座ー存在感訴求力をどう身に着けるかー」埼玉大学東京ステーションカレッジ(仁上・渡邊)

**参加者アンケート**

- 1)「動画の著作権が心配」  
教育機関では許諾無用
- 2)「広報誌の良い例も見たかった」  
良いビジュアルの実例は外の世界にいくらでもある

**研究分科会**

東地区部会研究部研究分科会  
存続か休止か廃止か

**企画広報研究分科会**

・2013.10.29-図書館総合展フォーラム:企画広報研究分科会 30周年シンポジウム「図書館サバイバル用「万能道具箱」の今一企画広報ツールの研究開発 30年の到達点と課題ー」基調講演、パシフィコ横浜  
基調講演:仁上幸治(帝京大学准教授)  
スピーカー:太田香保(松岡正剛事務所)  
スピーカー:山田かおり(嘉悦大学情報メディアセンター図書館グループ長)  
スピーカー:中嶋康(帝京大学メディアライブラリーセンターグループリーダー)  
プレゼンター:島田貴司(立正大学情報メディアセンター)

**外部のネットワーク**

- ・図書館サービス計画研究所(トサケン)

**第3部 企画立案の枠組みの再考 \*\*\*\*\***

**【1】図書館ブランディングの基本的な考え方**

**ケラーの定義**

「ブランディングは精神的な構造を創り出すこと,消費者が意思決定を単純化できるように,製品・サービスについての知識を整理すること」  
「ブランディングにとっての鍵は,ある製品カテゴリー内で消費者が知覚するブランド間の差異である」

**ブランド・レゾナンス・ピラミッド**

- 4つの階層(ステップ)
- 6つのブランド構築ブロック
- 2つのルート

**ブランド要素**

- ブランド・ネーム
- ロゴとシンボル
- キャラクター
- スローガン
- パッケージ など

**5つのブランド要素の選択基準**

- 記憶可能性
- 意味性
- 移転可能性
- 適合可能性
- 防御可能性

**図書館の経営環境**

存在理由の見直し  
独自の価値の対外的訴求

独自の存在感

**独自の存在感: 3つの視点**

**1)業界内の位置**

図書館 VS 情報サービス業界  
書店,検索会社,コンビニ  
どこが違うのか?

**2)図書館界での独自性**

自館 VS 他館  
同じ図書館界でも自館の特徴は?

**3)組織内の存在感**

同じ親組織(自治体,企業,大学,学校等)  
図書館 VS 他部署  
投入資源に見合う産出  
確かな有用性?

**実態リアリズム**

ありのまま伝達主義  
正直さ:情けなさ

**プラス面切り取り主義**

規模が小さい  
→ 小回りの利くキビキビしたサービス  
蔵書が貧弱  
→ 授業直結の精選された蔵書構成  
スタッフ少ない  
→ 家族的な雰囲気,ボランティア歓迎!  
専門性に不安  
→ とともに学んで成長していく前向き図書館員

### 図書館総合展2010

#### 今日から使える図書館ブランディングセミナー－図書館魅力再発見計画－

仁上幸治(帝京大学 准教授)  
渡邊 崇(広告制作ディレクター)  
ツクロウ君しおり  
オリジナルキャラクター  
図書館グッズ制作推進キャンペーン  
アンケートのお願い

### 図書館総合展2011

#### 今日から使える図書館ブランディングセミナー(2)－コンセプトメイクからデザインまで－

基調講演「ブランディングはアイデンティティの明確化から」  
仁上幸治(帝京大学 准教授)  
事例報告「Idea Storeのデザインワーク」青木玲子(和光大学 非常勤講師)  
文献紹介「デザインのための即効ブクトーク」丸山高弘(山中湖情報創造館 指定管理者館長)  
ワークショップ「やってみよう！コンセプトメイク」渡邊 崇(広告制作ディレクター)

### 図書館総合展2012

#### 今日から使える図書館ブランディングセミナー(3)

#### 図書館員の自分ブランディング検定

－専門職崩壊の時代にあなたの専門職イメージは何点？－

基調講演「図書館ブランディングの現在」

仁上幸治(帝京大学准教授)

事例報告:

井上昌彦(関西学院 聖和短期大学図書館)

小曾川真貴(公共図書館勤務)

ワークショップ:図書館員の自分ブランディング検定

石川敬史(十文字学園女子大学専任講師)

#### 【2】図書館政策の立て直し

来館-非来館という問題の枠組み

#### 1)なぜ来館者数を増やさなければならないのか？

- ・投下資源と産出サービスの運用効率
- ・学内人材の再配分

#### 2)非来館型サービスの推進は何のため？

- ・電子ジャーナルの契約数の増加
- ・オープンアクセス化の推進
- ・ホームページ上のサービスの拡充
- ・電子書籍の導入
- ・全学生に電子書籍端末配布

#### 3)理系研究者の理想は全電子化+無蔵書!?

- ・ILL/DD申込・キャンセル分析
- ・電子ジャーナルの契約範囲の中途半端さ
- ・リンクリゾルバの精度不足が所蔵あり見落としの原因
- ・電子資料とプリント資料所蔵検索は面倒！
- ・利用者教育の受講はコスト！
- ・プリント資料の所蔵ありは来館＝自力コピーのコスト要因！
- ・論文のオンライン複写デリバリーこそが理想
- ・図書館の施設・組織・要員は不要

#### 4)学部生の学習用プリント資料の効果的提供

- ・教育＝学習の授業直結ニーズの創出とサービス提供
- ・本来的利用の核となりうるか？

#### 【3】活動の場としての図書館

##### 図書館(資料・人材)を使う

- ・蔵書、電子ジャーナル
- ・レファレンスサービス、ILL/DDサービス

##### 図書館(施設・設備)を使う

- ・PC等の学習・発表機器+ラウンジ(ラーニングコモンズ)
- ・発表の場(例:大阪芸術大学)
- ・図書館員はコーディネータ、ファシリテータ

##### 【4】利用者教育・利用促進

- ・ハードコア・ノンユーザーをライト・ユーザーに
- ・ライト・ユーザーをヘビー・ユーザーに
- ・ヘビー・ユーザーをスーパー・ヘビー・ユーザー兼インストラクターに！

## 第4部 取り組みの計画づくり

\*\*\*\*\*

【1】図書館の経営環境と図書館長の役割

【2】奇蹟のV字回復への戦略

【3】図書館と図書館員のイメージを変える

【4】ネックを超える－具体的・現実的・実行可能な案を作る

—

## 第5部 改革への提案

\*\*\*\*\*

提案 1:: 5つの特効薬を試す

1)オリエンテーションと講習会を変える

2)帳票に指導内容を埋め込む

3)ホームページ上に配付資料とスライドを公開する

4)探索法指導内容をパスファインダー形式に作り変える

5)教科書を作る(一般・専門・研究)

**提案 2: 外堀を埋める—非利用の原因をツブす—**

- ・サービス・コンセプトは AKB(明るい・気軽・便利)
- ・グッズで認知度・好感度アップ
- ・カフェで集いの場の提供
- ・ラーニングコモンズで学習支援

**提案 3: 本丸を攻める**

**大学基礎教養教育への直接貢献**

**リザーブ図書制度の本格運用**

- ・「指定図書」という誤解
- ・大学教育支援サービスの必須基幹システム
- ・受講生数と読了締切日に合わせた最適冊数と貸出期限
- ・教員・事務職員と図書館員の本来的協働

**教員キーパーソンの発見と協働**

- 出会うの機会
- 評価の拡散
- トップの意思決定への影響

**提案 4: ブランディングを強める**

- マーク、シンボル、ロゴタイプ
- マスコットキャラクター
- 図書館グッズ

**提案 5: 自分ブランディング**

- 名刺
- イベント参加(学内外)
- 発言
- 発信(SNS)

**提案 6: 研修を変える**

- いつでも相互扶助
- 気軽な情報交換
- 「やりっぱなし」から「フォローアップ重視」へ

**テーマ**

- キャッチコピー講座
- 広告レイアウト講座
- パブリシティ講座
- ブランディング講座
- デザインング講座(強化合宿)
- プレゼンテーション講座
- スライドショー作成講座
- アドヴォカシー講座

**形式**

- 講義
- ワークショップ

**講師**

- 研究者
- 広告実務者
- コラボ型

**フォローアップ装置**

- 参加者メールリスト(同期の桜)
- 事例紹介共有サイト(投稿・閲覧)
- 研修資料アーカイブ
- 研修成果報告発表大会

**■ 0. 付録： 事前課題アンケート**

\*\*\*\*\*

\* 仁上先生の文献を読んで、共感したところ、より深く聞きたい内容があればご記入ください(200字以内)  
 ヒアリングシートにご記入ください。  
 ◆ 仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化し

ているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24. CA1728:  
 HTML版: <http://current.ndl.go.jp/ca1728>

**■ 1. 参考文献**

\*\*\*\*\*

**● 図書館利用教育ガイドライン**

- ・日本図書館協会利用教育委員会編『図書館利用支援ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3
- **オリエンテーション・講習会**
- ・仁上幸治「大学図書館員のためのオリエンテーション技法: 印象づけを重視した構成・演出の改善の試み」『医学

- 図書館』52(1), 2005.3, pp.15-24.
- ・仁上幸治「オリエンはエンタメだ! —素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを—」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1(特集オリエンテーション)pp.2-5.
- ・仁上幸治「文献調査法の専門分野別最先端情報の共有へ向けて—研究室内知識伝承者を養成するインストラクター講習会の試み—」『ふみくら』77, 2008.12, pp.4-5. [全文]
- ・仁上幸治「情報検索指導における良い例題・悪い例題(初級編)—素材を集め, 問題を作り, 要点を説明する方法—」, 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践—すべての図書館で利用教育を—』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会, 2010.3, pp.88-108.

●**広報・PR**

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部図書館サービス研究分科会広報グループ『図書館広報を考えなおす』, 1982.12.
- ・高橋昇・仲谷由香理・仁上幸治「新図書館とサインシステム計画」『早稲田大学図書館紀要』no.27,1987.3,pp.58-90. [全文]
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブックー広報戦略の全面展開をめざしてー』日本図書館協会発売,2002.9 303p, ¥2381
- ・仁上幸治「ライブラリアンのための広報戦略マニュアルー専門性を訴求する5つのポイントー」『専門図書館』No.225 2007.9, pp.88-93.
- ・仁上幸治「図書館広報はなぜ読みにくいのか(中級編)ーレイアウト改善の5つのポイントー」『館灯』47,2009.3.31, pp.124-129.
- ・仁上幸治「図書館を見違えるほど魅力的に！ー少人数職場ならではの即効変身術ー」『短期大学図書館研究』No.29(2009), pp.49-53.
- ・仁上幸治「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集図書館アピール)
- ・仁上幸治「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)

●**広告**

- ・谷山雅計『広告コピーってこう書くんだ!読本』宣伝会議,2007.
- ・宣伝会議コピーライター養成講座編『最新約コピーバイブル』宣伝会議, 2007.
- ・デンソウデザインタンク編著 後藤徹 監修『新アートディレクター入門』電通, 2007.3
- ・姫路市立美術館,凸版印刷株式会社印刷博物館 編『大正レトロ・昭和モダン広告ポスターの世界:印刷技術と広告表現の精華』国書刊行会, 2007.7
- ・眞木準 著『胸からジャック。:心にささる一行メッセージのつくりかた。』大和書房, 2007.7
- ・オブスキュアインク 著『レイアウトデザインのルール:目を引くページにはワケがある。』ワークスコーポレーション, 2008.2
- ・堀内敬一 著『売れる!チラシのデザインルール』グラフィック社, 2006.6

●**CIとブランディング**

- ・ケビン・レーン・ケラー(恩蔵直人・亀井昭宏訳). 戦略的ブランド・マネジメント. 第3版. 東急エージェンシー出版部. 2010.
- ・菅谷明子著『未来をつくる図書館:ニューヨークからの報告』岩波書店, 2003(岩波新書 新赤版 837). 735円
- ・中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略ーデザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.
- ・仁上幸治「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略ー」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14. [全文 PDF]

●**図書館グッズ**

- ・図書館サービス・ツール研究会編著『ライブラリー・グッズの調査・研究と企画・開発』(平成21年東京都図書館協会研究助成報告書), 2010.2, 33p.
- ・仁上幸治「グッズが図書館を元気にする!ー暗い状況でも楽しめる最強秘密兵器ー」(特集 ライブラリー・グッズ) [聞き手:鈴木正紀]『大学の図書館』426, 28(5), 2009.5, pp.70-75.
- ・仁上幸治; 中島玲子; 石川敬史「笑顔を生み出す「魔法」の戦略ツールー図書館グッズの研究・開発・普及活動ー」『薬学図書館』55(2), 2010.4, pp.94-101.

●**プレゼンテーション**

- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門ープレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM), 講談社, 2003, ¥1,995
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社, 2006.9(中公新書)
- ・諏訪邦夫『発表の技法ー計画の立て方からパソコン利用法までー』講談社, 1995(ブルーバックス B-1099), ¥760.
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書, 2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術ー意図を正しく伝えるための16のルールー』講談社, 1999.3(ブルーバックス, B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術ー最強のプレゼンテーション15のルールー』講談社, 2002.10(ブルーバックス, B-1387)
- ・ボブ・ボイラン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ, 1993. ¥1300.
- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社, 1999. ¥800. (講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10ー話して伝える, 書いて伝える, 図表で伝える』講談社, 2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社, 2004.4

●**指導演**

- ・岡本浩一『上達の法則ー効率のよい努力を科学する』PHP研究所, 2002.5 (PHP新書) ¥714
- ・多和田悟『犬と話をつけるには一駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋, 2006.6, (文春新書)
- ・中野民夫『ワークショップー新しい学びと創造の場ー』岩波書店, 2003.04 (岩波新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿ーあの失敗から何を学ぶか』小学館, 2006.4, ¥1300
- ・吉田新一郎『効果10倍の「教える」技術:授業から企業研修まで』PHP研究所, 2006 (PHP新書)

●**「情報の達人」の歴史**

- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「人・時間・予算の壁を破る利用者教育の強力ツール新登場」『図書館雑誌』1992.11, pp.798-799.
- ・日本図書館協会利用者教育臨時委員会「利用者教育ビデオシリーズへの熱い期待」『図書館雑誌』1993.8, 1993.8, pp.553-556.
- ・仁上幸治「情報リテラシー教育と新しい図書館員像ー『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52.
- ・仁上幸治「『図書館の達人』から『情報の達人』へー利用者教育映像教材の進化15年の集大成」『図書館雑誌』101(4), 2007.4, pp.238-239.
- ・『情報の達人』ホームページ:  
<http://www.kinokuniya.co.jp> (左メニュー下方に入口)

●**図書館長の仕事**

- ・『ある図書館長の一日:市町村立図書館経営の実際』紀伊國屋書店, 1998: (27分): VHS (図書館の達人; 司書実務編 pt.3; 7).
- ・ちばおさむ『図書館長の仕事:「本のある広場」をつくった図書館長の実践記』日本図書館協会, 2008 (JLA 図書館実践シリーズ; 10).

●**カメ**

- ・長坂拓也・文 大片忠明・絵/かめ』フレーベル館, 2009 (フレーベル館だいすきせん 26)
- ・田中美穂『亀のひみつ』WAVE出版, 2012.8. ★倉敷の古書店「蟲文庫」店主

## ■ 2. 参考サイト \*\*\*\*\*

### 【1】広告

- ・京都広告塾 編『巧告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン、2007.8 <http://www.impressjapan.jp/books/2442.php>
- ・京都広告塾 編『効告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン、2007.11 <http://www.impressjapan.jp/books/2483.php>
- ・京都広告塾 編『考告。：企画をヒットさせるために広告クリエイターたちが考えること』東京：インプレスジャパン、2007.10 <http://www.impressjapan.jp/books/2459.php>

### 【2】広告アーカイブ

- ・新聞広告データアーカイブ：  
<http://www.pressnet.or.jp/adarc/data/>
- ・動画 NOW!! CM 企業 一覧：  
<http://www.doga-now.com/company/>
- ・宣伝会議：<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・PRIR：  
<http://www.sendenkaigi.com/hanbai/magazine/prir/>
- ・百式 POP\*POP 広告・マーケティング カテゴリー：  
<http://www.popxpop.com/archives/cat19/>

### 【3】デザイン

- ・服部デザイン研究所：「THE Know-How」レイアウト能力：  
[http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl\\_lyt.html](http://wwwweb.jp/hdi/data/pc/dtl_lyt.html)
- ・増田デザイン事務所 Masuda Design Office：  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/index.html>
- ・グラフィックデザイン：  
<http://www.ryuumu.co.jp/~mdo/graphic5.html>
- ・MdN：<http://www.mdn.co.jp/content/view/6/18/> または <http://www.mdn.co.jp/content/category/38/27/55/>
- ・グラフィックデザイン：  
<http://www.mdn.co.jp/content/blank/89/130/>

### 【4】編集

- ・松岡正剛事務所 セイゴオちゃんねる：  
<http://www.isis.ne.jp/seigowchannel/>
- ・編集工学研究所：<http://www.eel.co.jp/>
- ・イシス編集学校：<http://es.isis.ne.jp/>
- ・松丸本舗：<http://www.matsumaru-hompo.jp/>
- ・松岡正剛の千夜千冊：<http://1000ya.isis.ne.jp/>

### 【5】CI とブランディング

- ・パオス：<http://www.paos.net/>
- ・佐藤可士和：<http://kashiwasato.com/>

### 【6】編集・広告の学校

- ・編集の学校／文章の学校：<http://www.editorschool.jp/>
- ・～編集の現場から～ 文章上達のための練習問題：  
<http://www.raichosha.co.jp/mm/sentence.html>
- ・宣伝会議：<http://www.sendenkaigi.com/>
- ・宣伝会議の教育講座：  
<http://www.sendenkaigi.com/kyoiku/>
- ・京都広告塾：<http://www1.newweb.ne.jp/wa/academy/>

### 【7】オフィスソフトを自習する

- Microsoft Office  
<http://office.microsoft.com/ja-jp/?CTT=97>
- Office のトレーニング  
<http://office.microsoft.com/ja-jp/support/FX010056500.aspx>
- PowerPoint2013  
<http://office.microsoft.com/ja-jp/powerpoint-help/RZ102925029.aspx>
- PowerPoint 2010  
<http://office.microsoft.com/ja-jp/support/results.aspx?ctags=CL010370721>
- Microsoft atLife  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/>
- TIPS(使い方ガイド)  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/>
- Office (オフィス) の活用方法と Tips をご紹介  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/office.aspx>
- Word  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/word.aspx>
- Excel  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/excel.aspx>
- PowerPoint  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/atlife/tips/archive/office/navi/powerpoint.aspx>

### 【8】プレゼンテーションの方法を学ぶ

- ・Presentation.jp (プレゼンテーション総合サイト)：  
<http://www.presentation.jp/index.html>
- ・資料作成：  
[http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap\\_ppt.html](http://www.presentation.jp/prjp/knowhow/siryou/trap_ppt.html)
- ・高橋メソッド：<http://www.rubycolor.org/takahashi/>

## ■ 3. 講師紹介 \*\*\*\*\*

仁上幸治 (にかみ・こうじ)：帝京大学総合教育センター准教授／元・早稲田大学図書館司書／非常勤講師歴(法政大学・亜細亜大学・東京家政大学・桜美林大学) ◎電子メール：[nikamikoji@yahoo.co.jp](mailto:nikamikoji@yahoo.co.jp) ★講演生涯合計 138 本(2012 年末時点)

◎ホームページ：<http://sites.google.com/site/nikamik23/>

◎図書館サービス計画研究所(略称トサケン)：<https://sites.google.com/site/tosaken23/>

### ◎教材開発

・ライブラリービデオシリーズ『情報の達人』全3巻(DVD), 紀伊國屋書店, 2007.2.

### ◎著書

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン—図書館における情報リテラシー支援サービスのために(合冊版)』日本図書館協会, 2001.8, 81p: ¥1500
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会『図書館広報実践ハンドブック—広報戦略の全面展

開をめざして—』日本図書館協会発売, 2002.9 303p, ¥2381

- ・戸田光昭[他]共著『改訂 専門資料論』樹村房, 2002.10 (新図書館学シリーズ第8巻), ¥1900
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会, 2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』新訂版, 日本図書館協会, 2010.3 (菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共

著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ、II-8)

- ・大学導入教育研究会編『よくわかるライフデザイン入門ー大学生のための必須学習術ー』第二版、古今書院、2011.2.10. 120p.¥1900.
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(JLA 図書館実践シリーズ; 14) 日本図書館協会、2010.3

### ◎最近の論文

- ・「何を誰にどう訴えればよいのか」『専門図書館』2009(5), (239), 2010.1, p.2-7.(特集 図書館アピール)
- ・「研究文献レビュー」『図書館の「広報」は進化しているか?ー説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践ー』『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24 [CA1728] HTML 版: <http://current.ndl.go.jp/cal728>
- ・「情報リテラシー底上げ奮戦記ー自習時間ほぼゼロ学生のための論文・プレゼン指導ー」『帝京大学総合教育センター論集』(2), 2011.3, pp.83-105.
- ・「図書館の魅力は細部に宿るー「ちょっとした工夫」を超えるブランド戦略ー」『ほすびたる らいぶらりあん』36(1), 2011.3, pp.8-14.
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の形成ー日本版ガイドラインの作成過程を中心にー」『日本図書館情報学会春季研究集会発表要綱』(2011.5.14), pp.91-94.
- ・「これからの「PR」の話をしようーいまを生き延びるための図書館経営学ー」『病院図書館』30(3), 2011.5, pp.124-132. (特集「図書館のPR」)
- ・「マルチメディアのフル活用による双方向授業の試みースライドショー,映像教材,ファイル配布・提出,アンケートの各システムを使い切るー」『帝京大学情報処理センター年報』(13), 2011.3.31, pp.77-91.(実刊行日:2011.7.25)
- ・「図書館利用教育における「指導サービス」概念の射程ー情報リテラシー教育という枠組みの可能性と限界ー」『日本図書館情報学会秋季研究集会発表要綱』(2011.11.12), pp.53-56.

### ◎最近の講演(2013-)

- ・2013.03.07-奈良県図書館協会公共図書館部会 職員研修会 講義とワークショップ「図書館ブランディング実践講座ー見られたいイメージを地域ぐるみでアピールしようー」奈良県社会福祉総合センター
- ・2013.03.07-図書館サービス計画研究所 トサケンセミナー in 三重「図書館員の自分ブランディング実践講座ー見られたい自分イメージのコンセプトマッピングー」酒テラス津 Bamboo(三重県津市)
- ・2013.03.28-私立大学図書館協会企画広報研究分科会 月例会 講演(4)「図書館オリエンテーションの検証ーガイドラインの目標はどこまで達成されたかー」帝京大学メディアライブラリーセンター
- ・2013.06.28-全国公共図書館協議会研究集会「図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」東京都立中央図書館 4階 多目的ホール
- ・2013.07.06-07-大学図書館問題研究会 福岡支部 特別研修「ハードコア・ノンユーザーの心をつかむ図書館ブランディングー潜在ユーザー発掘大作戦ー」九州女子大学・九州女子短期大学付属図書館 3F 多目的学習室(福岡県北九州市)
- ・2013.08.06-和歌山県学校図書館研究会学校司書部会研究会「もし学校図書館のマネージャーがケラーの『戦略的ブランド・マネジメント』を読んだらーイメージ革新のための劇的ビフォーアフターー」県民交流プラザ和歌山ビッグ愛(和歌山県和歌山市)(和歌山市)

- ・2013.08.11-大学図書館問題研究会全国大会第 8 分科会:利用者支援「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を!ー」つくば国際会議場(茨城県つくば市)
- ・2013.08.23-24-九州地区私立短期大学図書館協議会研修会「忙しい図書館員のための PC 使い倒し「超」実用講座ー省力効果絶大な便利技をマスターしよう!ー」精華女子短期大学(福岡県福岡市)
- ・2013.08.24-岡山県青年図書館員研修会サマーセミナー × 交流会「おとなしい図書館員のための図書館PR大作戦!ー企画・広報の即効お役立ち小ワザ交換会ー」Cafe & Dining PEACH(岡山県岡山市)
- ・2013.08.25-金光図書館ミニセミナー「図書館員と図書館長のための自分ブランディング講座ー内外に味方を増やすキャラクターの作り方ー」金光図書館(岡山県浅口市金光町)
- ・2013.08.25-大学図書館問題研究会兵庫支部例会 兼 トサケンセミナー「イマドキの大学生のココロをつかむー初年次教育・図書館ガイダンス・授業の導入部にもっと工夫を!ー」関西学院大学大阪梅田キャンパス(大阪市北区)
- ・2013.10.12-デジタルメディア研究所・図書館サービス計画研究所共催「未来図書館創造会議ーみんなで図書館のことを考えるトークセッションー」基調講演、ウイングス京都(京都市)
- ・2013.10.18-石川県公共図書館長会議「図書館長のための自分ブランディング講座ーコンセプト作りからデザイン展開へー」石川県立図書館(金沢市)
- ・2013.10.29-図書館総合展フォーラム:企画広報研究分科会 30 周年シンポジウム「図書館サバイバル用「万能道具箱」の今ー企画広報ツールの研究開発 30 年の到達点と課題ー」基調講演、パシフィコ横浜(横浜市)

### \*講演予定(一部未定)

- ・2013.12.05-文部科学省図書館地区別研修-関東・甲信越静地区「図書館ブランディング入門ー内外に味方を増やすコミュニケーション戦略ー」神奈川県立川崎図書館(川崎市)
- ・2013.12.28-教員免許状更新講習「学校図書館の活用」帝京大学(八王子)
- 2014.09.04-05-私大協中国四国地区研究会(岡山市)

### ■帝京大学 MELIC 講座「レポート・論文作成「超」実用講座」

帝京大学メディアライブラリーセンター(MELIC) 2階 情報学習室

◎2012年度

- ・2012.07.12-第1回「即効入門編:ただの感想文じゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.10.25-第2回「執筆準備編:いきなり書き始めちゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.11.29-第3回「読解・下ごしらえ編:イイとこ取りの丸写しじゃダメだったのか!?!の巻」
- ・2012.12.06-第4回「執筆・仕上げ編:イッキ書き速攻提出じゃダメだったのか!?!の巻」
- ★配布資料,スライド,アンケート結果など資料一式公開中!
- ★ビデオ記録ウェブ公開開始!(学内限定)[2012年12月]  
<https://appsv.main.teikyo-u.ac.jp/tosho/lecture/report-koza.html>

以上(配付資料/2013.11.9作成) ■□■